１０　家庭

学校番号	T2101

平成３１年度　家庭科

教科	家庭	科目	生活と福祉	単位数	2	年次	１～４
使用教科書	生活と福祉（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○人の一生の生活と健康、介護・看護などに関する知識と技術について学習します。
○学んだこと、考えたことを自分の生活に反映させ、よりよい生活をめざします。

2　学習の到達目標

人の一生の生活と健康、介護・看護などに関する知識と技術を習得させ、高齢者の生活の質を高めるとともに、自立生活支援と福祉の充実に寄与する能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生の生活と健康、介護・看護などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生の生活と健康、介護・看護などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生の生活と健康、介護・看護などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生の生活と健康、介護・看護などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 レポート、発表　等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 レポート、発表 定期考査の結果　等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 製作品 定期考査　等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 レポート、発表 定期考査の結果 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月	ライフステージと健康管理	○健康の概念 ・健康の定義 ・Q.O.L. ＊「元気」なマインドマップ ○ライフステージと健康管理 ・ライフステージと健康 ・健康と栄養 ・健康日本21	○ ○	○ ○	○	○ ○	a:ライフステージごとの健康について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:ライフステージごとの健康について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:健康の概念について考察する技術を身に付けている。 d:ライフステージごとの健康について理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
4月	さまざまな住まいと暮らし	○高齢者の心身の特徴と病気 ・高齢者の心身特徴 ・高齢者の病気 ・さまざまな病気とその特徴 ＊症状を伝えよう ＊インフォームドコンセント (診断を聞く)	○	○	○	○	a:高齢者の心身の特徴と病気に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:高齢者の心身の特徴と病気について知り、予防や診断について考え、判断し、表現している。 c:病気やその特徴、症状について、伝える技術・インフォームドコンセントの大切さを身に付けている。 d: 高齢者の心身の特徴と病気についての知識を身に付けている。	
5月	高齢者の自立生活支援	○自立生活支援の基本 ・尊厳とノーマライゼーション ・自立生活支援 ・コミュニケーション ・レクリエーション ・ノンバーバルコミュニケーション ＊ハンドリフレクソロジー実習 ＊手話の基本会話 (毎回の授業の初めに、基本会話を2つずつ覚える。)	○	○	○	○	a:高齢者の自立生活支援に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:高齢者の自立生活支援について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:自立生活支援のためのコミュニケーションについて、実習等を通して技術を身につけている。 d:高齢者の自立生活支援に必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 実習 定期考査

5 月 6 月	高齢者支援の法律と制度	○介護保険制度 ・介護保険制度の概要 ・利用の手続き ・ケアプラン ・介護保険制度の財政 ・介護予防 ・地域包括ケア ・介護に関わる職業	○	○		○	a:介護保険制度と地域包括ケアについて関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:介護保険制度と地域包括ケアについて、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:介護保険制度と地域包括ケアについて検討する技術を、身に付けている。 D：介護保険制度と地域包括ケアについて基本的な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 実習 定期考査
7月	介護看護の実習と生活支援	○介護・看護の実習と生活支援 ・体位の種類 ・支え方・触れ方 ・椅子からの立ち上がり介助 ・寝返りの介助 ・車いすの種類と名称 ・車いすへの移乗 ・車いすでの移動 ・食事介助（食事準備・パタカラ体操） ・口腔ケア ・バイタルサイン ＊寝返り介助実習 ＊車いす介助実習 ＊食事介助実習 ＊クロックポジション実習 ＊バイタルサイン実習	○	○	○	○	a:介護・看護の実習ついて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:介護・看護の実習について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:実習を通し、介護・看護の基本技術を身に付けている。 d:介護・看護の場面における基本的な介助について、必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 実習 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。